

月とスマホ

“We Choose to Go to the Moon”. 第 35 代アメリカ合衆国大統領 JFK の 1962 年の演

説のフレーズである。「アポロ計画」である。「アポロ計画」から様々なテクノロジーが生まれた。我々の（現在の地上での）産業，生活に幅広く生かされている。芸術や文化にも影響を与えている。また人々の意識を変えた。

狭い宇宙船に載せるため必要だった小型軽量のコンピューター開発は、LSI などの半導体技術を発展させ、手のひらのスマホに繋がった。宇宙船のアンテナ素材として開発された形状記憶合金はメガネのフレームに、月面の画像を処理する技術はコンピューターCT, MRI など医療技術に繋がった。コンピューターでシミュレーションするというアイデアは建築・航空機・船舶・自動車などの設計，天気予報，薬品開発にも利用されている。宇宙で撮影された「地球の出」(Earthrise) という写真は、宇宙に浮かぶかけがえのない地球の姿を捉え、公害が社会問題化する中、地球環境や共生の意識を高める役割を果たした。

何かが本来の目的でないモノを生み出したり、思わぬことを気づかせてくれたりする。不便，弱いことの強さを。汗と涙ばかりがスポーツの象徴ではないことを。長嶋茂雄さんはキャッチボールの面白いところを「暴投した方がボールを拾いに行くのではなくて、受ける方が“いいよ，いいよ”と言って捕りに行く（拾いに行く）。それで投げた方は“ごめん，ごめん”と言いながら、この次はいいボールを投げなくちゃと考える」と紹介している。子供の頃、こんな大切なこと気がつかなかった。

With コロナは，“いいよ・いいよ”，“ごめん・ごめん”から繋がるかも。

こんなことを考えた書籍を紹介します。